



平成21年1月9日

各 位

会 社 名 J. フロント リテイリング株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長
 兼最高経営責任者 奥 田 務
 (コード番号 3086 東証、大証、名証第一部)
 問 合 せ 先 業務本部 財務部長 小 澤 雅
 (T E L . 03-6895-0178)

投資有価証券評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年2月期通期連結業績予想数値の修正 (平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	1,127,000	32,000	31,700	14,500	27.43
今回発表予想 (B)	1,096,000	25,000	25,300	6,000	11.35
増 減 額 (B-A)	△31,000	△7,000	△6,400	△8,500	△16.08
増 減 率 (%)	△2.8	△21.9	△20.2	△58.6	—
(ご参考)					
前期実績(平成20年2月期)	1,177,901	42,632	43,151	23,404	—

(注)前期実績には、平成19年3月1日から平成20年2月29日までの大丸グループ業績及び松坂屋グループ業績を連結した年間実質ベースの数値を記載しております。

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想について

米国発の金融・経済危機の影響から企業収益が急速に悪化し、景気後退が一段と深刻化するなか、消費者の節約志向や生活防衛意識の高まりなどから個人消費が低迷し、売上高は中間決算発表時の通期業績予想を下回る見込みとなりました。引き続き経費削減に努めますものの、営業利益は70億円の減少、経常利益は64億円の減少となる見込みであります。

また、当第3四半期末において、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、回復する見込みがあると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損78億円などを特別損失に計上するため、当期純利益は85億円の減少となる見込みであります。

なお、四半期連結会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、平成21年2月期連結会計年度末日の時価により、特別損失の額が変動する場合、もしくは特別損失を計上しない場合があります。

(2) 個別業績予想について

個別業績予想につきましても見直しておりますが、影響が軽微であるため、記載を省略しております。

以 上

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。